

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	200	事業名	生涯学習関係経費		事業の性質別	裁量的経費	区分			
予算事項名	大事項	社会教育関係経費		中事項	生涯学習関係経費		部課名	生涯学習部 榎法華教育事務所		
事業開始年度	昭和 47 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等()					電話番号	86-2451

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 各種体験講座や文化祭等の各種事業を展開し、もって地域住民の生涯学習の推進や活性化を図る。</p> <p>【必要性】 ・数少ない地域の行事(事業)として定着しており、生涯学習の推進に資している。</p>
内容	<p>・体験教室事業「陶芸教室」、新春書き初め会、友好地域子ども交流会事業、高齢者ふれあいいきいき学級事業「健康講座」・「文化伝承講座」、文化祭事業の実施</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人, 千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		530	399	538	376	355	0
特定財源	国・道	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		530	399	538	376	355	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合でも0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.40 3,186	人工 0.40 3,003	人工 0.43 3,114	人工 0.43 3,114	人工 0.40 2,916	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	3,186	3,003	3,114	3,114	2,916	0
総事業費計(A+B)		3,716	3,402	3,652	3,490	3,271	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業参加者	人	230	166	453	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない
------	-------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	事業をととして体験したこと、地域の世代間交流や地域間交流などにより、自己研さんや生活の充実、健康づくりの意識向上が図られた。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	地域にサークル活動や同好会活動がないため、当該事業は数少ない生涯学習の機会であり、地域住民に親しまれている。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	これまでにも事業の見直しにより経費の節減に努めてきたが、これ以上の節減を図る余地は少ない。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在と変わらない	
			受益者負担の適正度		評価対象外		
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	学習機会が不足している地域において、本事業を実施することにより、地域の生涯学習の充実が図られている。	執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	各事業の一連の業務を一括して外部委託することは難しく、業務内容からも委託化は適切ではない。また地域住民等からの協力や理解が得られにくいものと捉えている。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかに なった課題事項など		地域の生涯学習推進のため、本事業については継続実施する必要があるが、今後は事業評価などを行うとともに、市民ニーズの把握に努め事業展開する必要がある。					

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) ・各種生涯学習事業は、地域の行事(事業)として定着し、一定の参加者がいることから、現行どおり事業を継続する。
	現行どおり	(経費について) ・経費についても同様に現行どおりとする。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--